

ひまわり

No.346号

ホームページ <http://www.drnino.jp/>
ブログ <https://ameblo.jp/ninosakaclinic/>

“地域に飛び出す”チャレンジから見たもの

クリニックでは毎週水曜日の午前中に、カンファレンスを行っています。先日は2月23日(日)にともてらす早良で行われた写真展「写真とともに綴る」と「在宅ホスピスを語る会」および「在宅医療を知ろう」というパネル展示の振り返りを行いました。一昨年、ともてらす2周年記念で行った、在宅ホスピスの紹介や講演会、語る会を踏まえて、今回も積極的に地域の中へ飛び出してやってみよう、と取り組んでみたものです。(ひまわり3月号・2面参照)



クリニックの庭に咲いている桜です

- ・準備の段階で、ともてらすの方と相談。医療関係者ばかりでなく、また在宅のことを知らない人への配慮も必要とアドバイスを受け、写真を選びました。
- ・写真の展示や、語り合いに参加して、自分の体験を語ってくれたり、10代の人が、おばあちゃんのことを思い出した、とアンケートに書いてくれました。
- ・他に、医療における人権の尊重とはどういうことか、と話題になりました。Yさんは「思いを聞いてくれることが大切。(在宅では)大きな病院と違い、人として尊重されると感じた。」と語りました。私(二ノ坂)は、“医療はそもそも人権を守るためのもの”という考えを話しました。

地域に飛び出すことは、在宅ホスピスやボランティアのことを知ってもらう、という意味もありますが、多様な背景を持つ地域の方が集う場所では、反応もさまざまで、そのような場で病や死を語ることを考えさせられました。ともてらすという地域の交流センターの方たちとの協働の重要性を痛感しました。

最後に、クリニックの外に出たからこそ出会えた方、知ることのできた思いがありました。在宅医療、在宅ホスピスを知ってもらう機会づくりを超えて、自分たちが受け取るものがあつた、と深く感じました。(理事長 二ノ坂 保喜)

在宅ホスピスを語る会 報告

Yさん ご主人のお話

お話のガイドは看護師河崎

「愛でいっぱいわたしたちの幸せな日々～答えは本人がもっていた～」

がんステージⅣという状態でこれからの治療をどうするかという段階になった時、ご主人は「残りの時間は自分らしく普通の生活がしたい」との意思を伝えてくれたそうです。

Yさんは、いつかはお別れが来るという悲しみ・辛さはずっとありましたが、「死にゆく時間は悲しい時間ではなく幸せな時間でした」と表現されました。その理由は「大切な人と生きて共にあったから」。「夫の生きる姿に敬意を抱いた、自分のいのちに対する受容があった」と感じていたそうです。

今回テーマにした「愛」については、関わってくれた全ての皆さんから沢山の愛をもらった、何と言っても訪問看護ステーションの看護師さんと毎日共にサポートしたことは本当に楽しかったと話してくれました。

また、在宅で過ごす中で、本人の人間としての生きる力・死ぬ力を感じ、「いのちがそばにある、自分たちの中にある」と感じたそうです。そして、介護中はどうしても自分のことは後回しになりがちですが「介護する家族の心身の健やかさを保つことの大切さ」についても伝えてくれました。



語る会の後半は、ギターとオカリナのミニコンサート。理事長と在宅ホスピスボランティアの会「手と手」のメンバーで演奏しました。最後はYさんの思い出の曲「負けないで」をYさんにも歌っていただき、楽しいひとときでした。

Iさん お母さんのお話

お話のガイドは看護師尾曲

「ありがとうを伝えて繋がりを強くする～チーム愛子で支えた母と娘のお話～」

もてなすこと、お料理、犬(はじめくん)が大好きなお母さん。認知症が少しずつ進行するなかで、娘さんはお母さんに対して優しく接することができずしかめっ面になっていたそうです。

「私の代わりに母を笑顔にしてくれる人のところに連れて行こう」「自分ひとりでの介護なので、これでよいのか不安」との思いから、人の中にいる母にしたいとよく外に連れ出しました。娘さんは仕事をしていて自分ひとりで全てをできないことはわかっていたので、ヘルパーさん、デイサービスの方たち、いろんな人に相談して任せるようになりました。「いろんな人に頼ると頼った分教えてもらうことも多かった。自分も楽、母本人も楽に過ごすことができました。認知症になって20年、ヘルパーさん、デイサービスとも長いお付き合いで母のことを理解してくれていたからこそ、信頼関係があり、さいごまで家で暮らすことができた」とお話されました。

チーム愛子をつくる秘訣は？との質問には「一番は母の笑顔。母の笑顔がみんなをつないだと思います」と答えてくれました。



ともてらす早良ロビーにて記念の1枚

在宅ホスピスボランティア養成講座in早良が修了しました

在宅チームの一員へ

在宅ホスピスボランティア養成講座は、毎年福岡県内各地（昨年度は7地区）で開催しています。令和6年10月に開校した福岡市早良区の養成講座は10名の受講生でした。全5回10コマの講義では、在宅ホスピスに関する基礎知識や在宅ケアの社会資源、コミュニケーションなどについて学び、先輩ボランティアさんの経験を聞いたり、もしバナゲームや介護実習も行いました。現場実習では、当院の訪問診療に同行し患者さんのお宅を訪問しました。3月の修了式では「現場実習を経験し学びたい気持ちが強くなった」「訪問が好きだなと思った」などの感想や、半年間の学びを皆で話し合いました。先日は早速、新しいボランティアメンバーさんも一緒に、患者さん・ボランティアさんと西油山中央公園へ出掛け、お花見を楽しみました。これから、在宅チームの一員として一緒に活動できることを楽しみにしています。



青空の下、満開の桜を満喫しました

在宅ホスピスボランティア養成講座について

「ふくおか在宅ホスピスをすすめる会」と福岡県との協働で、平成19年に県内3地区で始まりました。各地の講座修了生が、それぞれの場所でボランティアの会を立ち上げ、現在は県内9地区（北九州市、宗像市、志免町、福岡市東区、西区、早良区、糸島市、久留米市、八女市）で、在宅療養中の患者さんやご家族のお話し相手や見守りなどを行っています。

小さなたねだより

イベントを紹介します

地域生活ケアセンター小さなたね スタッフより

春ですね！2月には飯盛神社へ行き、節分の大きな鬼やお福さんの飾りを見たり、恒例のおみくじを引いたり、陶器の玉を鬼に投げつけて1年の厄払いをしました！鬼に当たってパリン!!と割れる音や神社のガタゴト道も楽しんでもらえたかと思います。また、3月はお茶会を楽しみました。お湯がシュンシュンと沸く音、柄杓でお湯を入れる時のコポコポという音、ザラザラとした茶碗の触感や抹茶の良い香り。茶筌のシャカシャカいう音を楽しみつつ、茶筌を持って動かし体験してもらいます。壁には利用者さんに書いてもらった掛け軸を飾り、庭の草花を挿した花瓶も用意してかなり本格的な、静かだけれど五感を刺激するお茶会です。

「お軸は？」「結構なお点前で・・・」などの決まり文句もいながら、許可をもらってお茶を実際に口にしたり注入したりして楽しみました。このような小さなたねの活動の様子は随時ブログにアップしています!!ぜひそちらもご覧くださいね。

(看護師 小泉)

ブログはこちらのHPから <https://chiisanatane.com>



※小さなたね利用者さんの写真は了解を得て、掲載しています。

Event 催し物・イベントのご案内



クリニックからのお願い



感染症対策
～発熱時の受診について～

**発熱もしくは風邪症状のある方は
お車の中で待機していただくか
こちらが指定した時間に
受診していただくことで
発熱や風邪症状のある方との接触を
できる限り避けるようにしています**



発熱または風邪症状のある方は
まずはお電話にてご相談ください
受診できる時間や受診する方法について
ご案内いたします

にのさかクリニック
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります



**定期の受診、その他の症状で受診される方は
できるだけ12時までの受診をおすすめします**

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

5月の外来診療について



外来は暦通りの診療です

ゴールデンウィーク期間中の外来診療は、
暦通りとなります。

外来：5/2(金)まで ※連休明け 外来5/8(木)～
休診：5/3(土)～6(火) ※7(水)は訪問診療のみ

採用情報



スタッフを募集しています

“地域のかかりつけ医”として、患者さんや
ご家族の気持ちに寄り添いながら、共に
働くスタッフを募集しています。

まずは、クリニックの見学・訪問診療の
同行・毎週行っている勉強会への参加から
でも構いません。

どうぞお気軽にお電話か当院のホームペ
ージにあります「問い合わせフォーム」から
ご連絡ください

にのさかクリニック TEL:092-872-1136

<募集職種>

- ・医師（常勤・非常勤）
- ・看護師（常勤）

右のQRコードから、採用
情報をご覧ください。



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療		訪問診療	外来診療		
13:00		昼休み			昼休み		休診
14:00	午後	訪問診療			訪問診療		
17~18:00		※外来診療			※外来診療		

※ 午後5：00～6：00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療が
できない場合がございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただくと幸いです。